

. 参考文書

ワーキンググループ活動報告書

【WG 活動報告】

1：急性骨髄性白血病（AML）【小児】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 工藤 寿子	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
多賀 崇	滋賀医科大学附属病院	小児科
富澤 大輔	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
石田 宏之	京都府立医科大学附属病院	小児科
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍内科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
宮村 能子	大阪大学医学部附属病院	小児科
吉原 宏樹	聖路加国際病院	小児科

2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

1-1	「小児 AML における第 2 寛解期再移植例の成績と再移植の意義」 PI：多賀 崇
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
1-2	「非寛解期小児 AML における移植成績」 PI：岡本 康裕
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
1-3	「ダウン症候群に合併した急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI：村松 秀城
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：Muramatsu H, Sakaguchi H, Taga T, Tabuchi K, Adachi S, Inoue M, Kitoh T, Suminoe A, Yabe H, Azuma E, Shioda Y, Ogawa A, Kinoshita A, Kigasawa H, Osugi Y, Koike K, Kawa K, Kato K, Atsuta Y, Kudo K.; Reduced intensity conditioning in allogeneic stem cell transplantation for AML with Down syndrome.; <i>Pediatr Blood Cancer</i> . [Epub ahead of print]	
1-4	「小児 AML に対する自家移植の解析」 PI：坂口 大俊
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
1-5	「小児・思春期 AML 第一，第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI：石田 宏之
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	

1-6	「初回寛解期小児急性骨髄性白血病に対する自家骨髄移植を含めた造血幹細胞移植の意義を検証する臨床決断分析」 PI:長谷川 大一郎
学会発表: 長谷川大一郎他、第36回日本造血細胞移植学会総会(2014年3月7日-9日)沖縄コンベンションセンター 論文業績:	
1-7	「t(8;21)および inv(16)異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI:村松 秀城
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
1-8	「11q23 異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI:宮村能子
学会発表: 宮村能子他、第36回日本造血細胞移植学会総会(2014年3月7日-9日)沖縄コンベンションセンター 論文業績:	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月14日(月祝日)	国立がん研究センター	研究課題の進捗状況、JSHCT 総会時の各WGの活動報告について検討し、小児 ALL WG と共同研究についての提案がなされた。臨床決断分析モデルの expert opinion を造血細胞移植学会評議員の方をお願いすることとした。
7月7日(日)	名古屋第一赤十字病院	新規 WG メンバー挨拶、研究課題の進捗状況、新規研究課題「11q23(MLL)異常を有するAML」について検討した。解析の終わった「小児急性白血病におけるBU製剤(経口か静注)による比較」について報告があった。JPLSG SCT委員会にてプロトコール作成中のAML RIST12について説明があった。
11月30日(土)	九州医療センター	研究課題の進捗状況、二次調査を必要とする新規研究課題、成人AML WG との共同研究について検討した。

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (458)回

WGの今後の活動方針・抱負など

- 1) 成人AML WG との共同研究としてAYA世代の初回移植例の解析を進める。既に学会発表の終了した研究課題については、各担当者が中心となって共著者とともに議論を深め、論文化を目指す。
- 2) 日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG) AML RTST13 との共同研究やAML-05登録期間中の初回移植例の二次調査を検討中である。
- 3) 小児AML治療における移植の位置づけや晩期障害も考慮したがん経験者のQOLにも目を向け、よりよい移植医療の構築に貢献したいと考える。

2. 急性骨髄性白血病（AML）【成人】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 高見 昭良	金沢大学附属病院	輸血部・血液内科
金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
藤田 浩之	済生会横浜市南部病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田口 潤	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
高田 覚	群馬県済生会前橋病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院(がん・感染症センター 都立駒込病院)	輸血科(血液内科)
太田 秀一	札幌北楡病院	内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
森 甚一	東京大学医科学研究所	ヒトゲノム解析センター
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科

承認研究の進捗状況 (2013 年 1 月-12 月 JSHCT2014 を含む)

2-1	「AML 患者に対する RIST の有用性に関する研究-骨髄移植と末梢血幹細胞移植の比較-」 PI: 金森 平和
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-2	「フィラデルフィア染色体陰性骨髄増殖性腫瘍から発展した二次性急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の解析」 PI: 高木 伸介
学会発表: 準備中 論文業績: 執筆中	
2-3	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下 卓也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-4	「成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」 PI: 山下 卓也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-5	「初回寛解導入不応・再発非寛解期の急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後解析」 PI: 横山 洋紀
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-6	「各染色体分類における急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後の比較」 PI: 横山 洋紀
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-7	「急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の再発リスク因子解析」PI: 矢野 真吾
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) Shingo Yano 他 55th annual meeting American Society of Hematology (H25 年 12 月 6-9 日), New Orleans US 論文業績: 執筆中	
2-8	「AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析」 PI: 高見 昭良
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-10	「第一寛解期 AML に対する緩和的前処置移植における低用量 TBI の必要性」 PI: 瀬尾 幸子
学会発表・論文業績: 準備中・執筆中	
2-11	「第一寛解期 AML に対する自家造血幹細胞移植の有用性と予後予測因子の解析」PI: 藤田浩之
学会発表・論文業績: 準備中・執筆中	
2-12	「AML-M6/M7 に対する造血幹細胞移植」 PI: 石山 謙
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 執筆中	
2-13	「予後不良染色体異常 (3 番染色体、5 番染色体、7 番染色体、11 番染色体の異常、複雑核型) を有する骨髄系腫瘍 (AML および MDS) 症例の移植成績」 PI: 増子 正義

学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-14	「AMLにおけるMPO陽性芽球比率が同種造血幹細胞移植成績に与える影響についての解析」 PI：田口 潤
学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-15	「多系統の形態異常を伴うAML（WHO分類）における同種造血幹細胞移植についての解析」 PI：田口 潤
学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-20	「biphenotypic acute leukemia に対する造血幹細胞移植の成績」 PI：森 甚一
学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-21	「成人AMLに対する同種造血幹細胞移植における細胞遺伝学的リスク層別化システム(Cytogenetic Risk Stratification System：CRSS)の開発」 PI：山下卓也
学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-22	「中枢神経浸潤を伴った急性骨髄性白血病に対する造血細胞移植」 PI：青木 淳
学会発表・論文業績：準備中・執筆中	
2-23	「成人AMLに対するiv Busulfanを用いた骨髄破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」PI：山下 卓也
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：執筆中	
2-24	「成人AMLに対するiv Busulfanを用いた骨髄非破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績」PI：山下 卓也
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：執筆中	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013/1/13	国立がん研究センター	研究内容・研究進捗状況確認
2013/3/7	石川県立音楽堂	研究内容・研究進捗状況確認

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）
（542）回

WGの今後の活動方針・抱負など

本WGは、成人AMLへの造血細胞移植の標準化、未解決課題の克服を目標に、積極果敢に研究を進めています。今年も新メンバーが加わり、新たな研究も始まりました。生物統計専門家の協力体制、解析方法の確認・検証など、高精度の研究成果を発信する準備は整っています。メンバーの努力により成果の一部は学会で発表され、論文化が進んでいます。造血細胞移植学会と会員のたゆまぬ努力に基づく一元化データを臨床に役立つエビデンスへ発展させるため、粉骨砕身の姿勢でのぞみます。

3. 急性リンパ性白血病（ALL）【小児】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
宇佐美 郁哉	兵庫県立塚口病院	小児科
加藤 元博	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科
河崎 裕英	関西医科大学枚方病院	小児科
森本 克	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
後藤 裕明	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
石田 宏之	京都府立医科大学附属病院	小児科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
堀越 泰雄	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科

承認研究の進捗状況（2013年1月-12月 JSHCT2014を含む）

3-2	「小児急性リンパ性白血病に対する骨髄破壊的移植と骨髄非破壊的移植の比較検討」 PI：加藤 剛二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
3-4	「同種移植後再発小児 ALL における同種再移植後の予後に関する検討」 PI：加藤 元博
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：済（WG 研究業績一覧参照）	
3-5	「非寛解期小児 ALL における移植成績」 PI：岡本 康裕
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
3-6	「小児・思春期 ALL 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI：石田 宏之
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
3-8	「初回寛解期小児高危険群急性リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植の妥当性を検証する臨床決断分析」 PI：長谷川 大一郎
学会発表・論文業績：	
3-9	「小児フィラデルフィア染色体陽性急性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討と最適な移植時期、前処置、移植ソースの開発」 PI：河崎 裕英
学会発表・論文業績：	
3-10	「ダウン症合併急性リンパ性白血病患者における造血細胞移植の治療成績」 PI：後藤裕明
学会発表・論文業績：	

3-12	「小児急性白血病の移植前処置における経口ブスルファンと静注ブスルファンの比較」 PI：加藤元博
学会発表： JSH2013: 第75回日本血液学会学術集会 2013年10月11-13日(札幌) ASH 2013: 55th American Society of Hematology Annual Meeting (2013.12.6-9). New Orleans, USA. 論文業績： Kato M, Takahashi Y, Tomizawa D, Okamoto Y, Inagaki J, Koh K, Ogawa A, Okada K, Cho Y, Takita J, Goto H, Sakamaki H, Yabe H, Kawa K, Suzuki R, Kudo K, Kato K. Comparison of intravenous with oral busulfan in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with myeloablative conditioning regimens for pediatric acute leukemia. Biol Blood Marrow Transplant. 2013;19(12):1690-4.	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013/1/13	国立がんセンター中央病院	学会発表および論文化の進捗状況
2013/7/7	名古屋第一赤十字病院	学会発表および論文化の進捗状況

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (302)回

WGの今後の活動方針・抱負など

1. 新規テーマの開拓 2. 過去に学会発表された研究の論文化 3. 解析段階のテーマの学会発表の推進

4. 急性リンパ性白血病(ALL) 【成人】

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
今井 陽俊	札幌北榆病院	内科
藤澤 信	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科

金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
政氏 伸夫	北海道大学 大学院保健科学研究所	病態解析学分野
長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科
重松 明男	北海道大学病院	血液内科
千原 大	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

4-1	「高齢者 ALL 患者に対する RIST の有用性と予後因子に関する研究」 PI: 金森平和
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Kanamori H, Mizuta S, Kako S, Kato H, Nishiwaki S, Imai K, Shigematsu A, Nakamae H, Tanaka M, Ikegame K, Yujiri T, Fukuda T, Minagawa K, Eto T, Nagamura-Inoue T, Morishima Y, Suzuki R, Sakamaki H, Tanaka J. Reduced-intensity allogeneic stem cell transplantation for patients aged 50 years or older with B-cell ALL in remission: a retrospective study by the Adult ALL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Bone Marrow Transplant. 48:1513-1518, 2013.</p>	
4-2	「Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.」 PI: 西脇聡史
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: S. Nishiwaki, K. Miyamura, K. Ohashi, M. Kurokawa, S. Taniguchi, T. Fukuda, K. Ikegame, S. Takahashi, T. Mori, K. Imai, H. Iida, M. Hidaka, H. Sakamaki, Y. Morishima, K. Kato, R. Suzuki, J. Tanaka. Impact of donor source on adult Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia: a retrospective analysis from the Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Ann Oncology 24:1594-1602, 2013.</p> <p>Satoshi Nishiwaki, Yoshiko Atsuta, and Junji Tanaka. Allogeneic hematopoietic cell transplantation from alternative sources for adult Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia: What should we choose when no HLA-matched related donor is available? Bone Marrow Transplant 48:1369-1376, 2013. (Review)</p>	
4-3	「急性リンパ球性白血病に対する軽減前処置造血細胞移植に関する後方視的解析および骨髄破壊の前処置移植との比較」 PI: 田中淳司
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照).</p> <p>論文業績: Tanaka J, Kanamori H, Nishiwaki S, Ohashi K, Taniguchi S, Eto T, Nakamae H, Minagawa K, Miyamura K, Sakamaki H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Nishimoto N, Oba K, Masauzi N. Reduced-intensity versus myeloablative conditioning allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for patients aged over 45 years with acute lymphoblastic leukemia (ALL) in remission: A study from the Adult ALL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). Bone Marrow Transplant. 48:1389-1394, 2013.</p>	
4-4	「成人フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病における第一寛解期自家移植と同種移植の治療成績の比較」 PI: 加藤春美
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: 論文投稿中</p>	
4-5	「Ph+ALL を対象とした造血幹細胞移植における予後因子解析」 PI: 水田秀一

二次調査を経て論文投稿中 学会発表： 論文業績： The role of pre-transplant imatinib administration for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients with BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia. (投稿中)	
4-6	「Impact of minimal residual disease at allogeneic stem cell transplantation and post-transplant tyrosine kinase inhibitor on Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia.」 PI：西脇聡史
二次調査を経て学会発表準備中、論文執筆中 学会発表・論文業績：	
4-7	「An analysis of allogeneic hematopoietic transplantation in adult patients with acute lymphoblastic leukemia in first and second remission.」 PI：今井陽俊
JALSG と調整中 学会発表・論文業績：	

会議開催記録 (2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013/3/8	金沢	研究計画実施状況および今後の方針について

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013年12月末時点まで)
(656)回

WGの今後の活動方針・抱負など

いままでに英文論文4編が受理されております。また PhALL に関して二次調査を行わせて頂きました。皆様のご協力に深謝致します。その成果は論文投稿中あるいは学会発表準備中となっております。さらに ALSG とも連携して化学療法と同種造血幹細胞移植との比較についても研究を進めて解析を行って行きたいと考えています。
新しい研究の提案がありましたら、どんどんこの WG に参加してください。いつでもどなたでも大歓迎致します。

5. 慢性骨髄性白血病 (CML) 【小児】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 嶋田 博之	慶應義塾大学病院	小児科
谷澤 昭彦	福井大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科

承認研究の進捗状況（2013年1月-12月 JSHCT2014を含む）

5-2	「慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績（CML成人共同研究）」 PI：村松秀城
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：未発表	
5-3	「小児・AYA世代の慢性骨髄性白血病（CML）に対する骨髄非破壊的移植（RIST）の成績」 PI：嶋田博之
学会発表：JSHCT2014 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日）、沖縄 論文業績：未発表	
5-4	「同種造血幹細胞移植後に再発した慢性骨髄性白血病（CML）に対する治療戦略の検討」 PI：嶋田博之
学会発表：未発表 論文業績：未発表	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013/1/13	国立がん研究センター	成人WGと小児WGの共同研究について
2013/3/7	石川県立音楽堂	成人WGと小児WGの共同研究について

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） (210)回

WGの今後の活動方針・抱負など

成人WGと合同で2つの研究課題の解析を進める。研究課題「小児・AYA世代の慢性骨髄性白血病（CML）に対する骨髄非破壊的移植（RIST）の成績」では、若年CMLに対するRISTの成績と予後因子について解析、論文発表を行う。研究課題「同種造血幹細胞移植後に再発した慢性骨髄性白血病（CML）に対する治療戦略の検討」では移植後再発後の治療内容を評価し、再発に対する治療戦略を検討して、学会・論文発表を行う。

6. 慢性骨髄性白血病（CML）【成人】

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	セルプロセッシング・輸血部
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
初見 菜穂子	済生会前橋病院	血液内科
東條 有伸	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム

小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
近藤 健	北海道大学病院	血液内科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

6-1	「慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較」PI:大橋一輝
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: Effect of graft sources on allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation outcome in adults with chronic myeloid leukemia in the era of tyrosine kinase inhibitors: a Japanese Society of Hematopoietic Cell Transplantation retrospective analysis International Journal of Hematology 投稿中(major revise)	
6-3	「慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の移植成績と移植後TKI投与についての解析」PI:近藤健
学会発表: 未定 論文業績: 未定	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013.1.14	国立がんセンター(小児と合同)	「幹細胞別移植成績の比較」の論文化 ・基本データに欠損のある症例の扱いについて、など 新データセットを使った解析の確認 ・同種移植後のCML再発の治療戦略の解析 ・T315Iなどの遺伝子変異症例の進行CML症例の同種移植の状況と治療成績 ・進行期CMLの同種移植後のTKI(second TKIsも含めて)メインテナンス投与の実態 ・小児CMLに対する同種造血幹細胞移植の10年以降の長期予後
2013.3.9	石川県立音楽堂 楽屋(小児と合同)	「幹細胞別移植成績の比較」の論文化 ・論文投稿先について、など 新データセットを使った解析の確認 ・同種移植後のCML再発の治療戦略の解析 ・T315Iなどの遺伝子変異症例の進行CML症例の同種移植の状況と治療成績 ・進行期CMLの同種移植後のTKI(second TKIsも含めて)メインテナンス投与の実態 ・小児CMLに対する同種造血幹細胞移植の10年以降の長期予後
2013.10.12	さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール(成人のみ)	CMLの同種移植の移植成績と移植後TKI投与についての解析について(検討項目の相談、患者因子 前処置 GVHD 移植後の維持療法)

メーリングリストによる意見交換(メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで)

(36)回

WG の今後の活動方針・抱負など

<p>小児の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CML に対する同種造血幹細胞移植の成績 (CML 成人共同研究) 2. 小児・AYA 世代の CML に対する骨髄非破壊的移植 (RIST) の成績 3. 同種造血幹細胞移植後に再発した CML に対する治療戦略の検討および成人の課題 4. CML の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較 5. CML の同種移植の移植成績と移植後 TKI 投与についての解析について論文文化を進めます 	<p>2013 年 1 月 13-14 日で WG を小児 WG と合同で開催予定</p>
---	---

7. 骨髄異形成症候群 (MDS) 【小児】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
加藤 元博	東京大学医学部附属病院	無菌治療部 (小児科)
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
工藤 寿子	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍内科

承認研究の進捗状況 (2013 年 1 月-12 月 JSHCT2014 を含む)

7-1	「治療関連による小児および若年者の骨髄異形成症候群 (MDS) / 急性骨髄性白血病 (AML) 症例に対する造血幹細胞移植治療の検討」 PI: 小嶋靖子
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: 執筆中</p>	
7-2	「若年性骨髄球性白血病に対する同種造血細胞移植の成績」 PI: 吉田奈央
<p>学会発表・論文業績:</p>	
7-4	「小児骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植において G-CSF の予後に与える影響」 PI: 長谷川大一郎
<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: 執筆中</p>	

7-5	「小児一次性骨髄異形成症候群に対する至適移植法の開発に関する研究」 PI：長谷川大一郎
学会発表：Hasegawa D, et al. EBMT (April 9, 2013), London	
論文業績：執筆中	
7-6	「小児骨髄異形成症候群に対する再移植」 PI：加藤元博
学会発表：加藤元博 他 第36回日本造血細胞移植学会（2014年3月7日、沖縄）	
論文業績：執筆中	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013年1月14日	国立がん研究センター —	研究の進捗の確認、方針について検討

メーリングリストによる意見交換(メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (355)回

WGの今後の活動方針・抱負など

学会発表されている研究について、論文を作成中であり、投稿を進めていく。7-6「小児骨髄異形成群に対する再移植」については既に草稿ができあがっており、近く投稿予定である。若年性骨髄単球生白血病については今年の小児血液・がん学会で学会発表の予定となっている。

8. 骨髄異形成症候群(MDS) 【成人】

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮崎 泰司	長崎大学病院	血液内科（原研内科）
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科

大西 康	東北大学病院	血液免疫科
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
太田 秀一	札幌北榆病院	内科
糸永 英弘	佐世保市立総合病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院（東京都立駒込病院）	血液内科
小林 寿美子	日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野	血液膠原病内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
宮尾 康太郎	安城更生病院	血液・腫瘍内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科

承認研究の進捗状況（2013年1月-12月 JSHCT2014を含む）

8-1	「同種造血幹細胞移植が行われた50歳以上のMDS患者における移植成績の検討」PI：青木一成
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
8-3	「成人MDSに対する臍帯血移植」 PI：石山謙
学会発表：(1) Ishiyama K, et al. EHA2013 18 th congress of European Hematology Association. 2013年6月15日	
(2) 石山謙ほか、第75回日本血液学会学術集会 2013年10月11-13日（ロイトン札幌）	
論文業績：執筆中	
8-4	「慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI：糸永英弘
学会発表：Itonaga H, et al. ASH2013 55 th ASH annual meeting 2013年12月7-10日（ニューオリンズ）	
論文業績：執筆中	
8-5	「低リスク骨髄異形成症候群に対する造血幹細胞移植」 PI：青木淳
学会発表：未	
論文業績：未	
8-6	「治療関連骨髄性腫瘍（therapy-related myeloid neoplasms;therapy-related AML/MDS）の移植成績」 PI：臼杵憲祐
学会発表：未	
論文業績：未	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013年3月7日	石川県立音楽堂	現在進行中の研究について、染色体統一データについて、新たなプロジェクトについて

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） (233)回

WGの今後の活動方針・抱負など

研究はこれまで順調に国際学会等で発表されており、今後、論文化を進めていきたい。また、新たなテーマの提案もあっており、さらに若手の積極的な参加を推進したい。

9. 悪性リンパ腫（ML）【小児】

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小林 良二	札幌北楡病院	小児科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	血液内科
深野 玲司	国立病院機構 九州がんセンター	小児科

承認研究の進捗状況（2013年1月-12月 JSHCT2014を含む）

9-2	「小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：済（WG研究業績一覧参照）	
9-4	「小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI：深野玲司
学会発表：Stem cell transplantation for anaplastic large cell lymphoma of children and adolescent in Japan（第75回日本血液学会、2013/10/11-13、ロイトン札幌）	
論文業績：	
9-5	「小児リンパ芽球性リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI：三井哲夫
学会発表・論文業績：	
9-6	「小児成熟B細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績」 PI：藤田直人
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (120)回

WGの今後の活動方針・抱負など

小児リンパ腫はメンバー6人という弱小WGです。そもそも小児では悪性リンパ腫は多くなく、また病型も多彩であることから研究を組みにくい特徴があります。しかしながら、いままでに3つの学会発表および1つの論文掲載が進んでおります。これからも少しずつですが情報発信をできるように努力したいと思えます。

10. 悪性リンパ腫(ML) 【成人】

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学

池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
千原 大	愛知県がんセンター研究所	疫学予防部
多田 耕平	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
今田 和典	小倉記念病院	血液内科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
青木 智広	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
神山 祐太郎	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

10-1	「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:伊豆津宏二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
10-2	「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI:吾郷浩厚
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:なし	
10-3	「節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型(ENKL)の移植成績」 PI:鈴木律朗
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:投稿中	
10-4	「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI:伊豆津宏二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:なし	
10-5	「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI:賀古真一
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:投稿中	
10-6	「移植前B型肝炎、C型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響」 PI:加藤春美
学会発表:加藤春美, 他.移植前肝炎ウイルスの有無がリンパ腫の移植成績に及ぼす影響 - JSHCT 成人悪性リンパ腫WGからの報告 - 第75回日本血液学会総会(2013年10月11日-13日), 札幌	
Harumi Kato, et al..Hepatitis B and C Virus Infections Are Not Associated With Worse Clinical Outcomes After Autologous Stem Cell Transplantation: On Behalf Of The Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. 55th ASH Annual Meeting, New Orleans, LA, USA. Dec. 7-10, 2013	
論文業績:なし	
10-7	「高齢者びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI:千原大
学会発表:Dai Chihara, et al. High-dose chemotherapy with ASCT for elderly patients with relapsed/refractory DLBCL: a retrospective analysis from the Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. 12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), Lugano, June 19-22, 2013	
論文業績:Dai Chihara, Koji Izutsu, Eisei Kondo, Rika Sakai, Shuichi Mizuta, Kenji Yokoyama, Hiroto Kaneko, Koji Kato, Yuichi Hasegawa, Takaaki Chou, Hiroyuki Sugahara, Hideho Henzan, Hisashi Sakamaki, Ritsuro Suzuki, Junji Suzumiya.	
High-dose chemotherapy with autologous stem cell transplantation for elderly patients with	

relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma: a nationwide retrospective study. Biology of Blood and Marrow Transplantation (in press).	
10-8	「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生
学会発表: Kondo E, et al. High dose chemotherapy with autologous stem cell support for Primary Mediastinal large B-cell Lymphoma: a retrospective analysis from the Adult Malignant Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), Lugano, June 19-22, 2013 論文業績: なし	
10-9	「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生
学会発表: Eisei Kondo, et al. High dose chemotherapy with autologous stem cell support for primary CNS lymphoma: a retrospective analysis from the Adult Lymphoma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 18th Congress of the European Hematology Association. Stockholm, Sweden, June 13-16, 2013 論文業績: なし	
10-10	「自家末梢血幹細胞移植前処置が悪性リンパ腫の移植後予後に及ぼす影響に関する研究」 PI: 水田秀一
学会発表: 未 論文業績: なし	
10-11	「血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫における造血幹細胞移植の意義についての検討」 PI: 加藤光次
学会発表: 未 論文業績: なし	

会議開催記録 (2013 年 1 月-12 月)

日時・場所	会議内容
2013/3/7 (平成 24 年度第 3 回) 金沢県立音楽堂	成人リンパ腫 WG の責任者に鈴宮淳司が継続することが報告された。WG の活動を活性化するために若い先生方の参加を募ること、以下に上げるような新規のテーマについて議論がされた。菌状息肉症、セザリー症候群に関する後方視研究、代表的な大量化学療法レジメンごとの自家移植の治療成績の比較、blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm (BPDCN)、Anaplastic large cell lymphoma について、Enteropathy-associated T-cell lymphoma などのその他稀少な T 細胞リンパ腫、Aggressive lymphoma vs ATLL、感染症や NRM などの特徴の比較、PCNSL に対する自家移植、自家移植後の CNS relapse についての解析、IVLBCL の研究、Double hit lymphoma の移植成績に関する研究。

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)

(956) 回

WG の今後の活動方針・抱負など

メンバーも 34 名になり、若い先生方が増えてきました。その先生方が新しい研究テーマを出され、WG 全体に活気がでてまいりました。立案されました研究テーマが発表され、論文化されるように WG のメンバー全員でやっていけるようにしたいと考えております。とにかく発言しやすい、若い先生方ものびのびとやれるような WG にしたいと考えていますので、成人リンパ腫の移植治療に興味のある先生はご参加ください。また、昨年も抱負とさせていただきますが、この WG を母体として前向き研究ができるような体制づくりもしたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

11. 再生不良性貧血【小児】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：小島 勇二	名古屋大学医学部附属病院	小児科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
工藤 寿子	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
小林 良二	札幌北榆病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

11-1	「フルダラピン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響」 PI：矢部普正
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
11-2	「小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法と比較」 PI：吉田奈央
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
11-3	「小児再生不良性貧血におけるドナー選択—HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ドナーの比較」 PI：小島勇二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
11-4	「小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績」 PI：菊地陽
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：Kikuchi A, Yabe H, Kato K, Koh K, Inagaki J, Sasahara Y, Suzuki R, Yoshida N, Kudo K, Kobayashi R, Tabuchi K, Kawa K, Kojima S. Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HLA-matched sibling donor in Japan. Bone Marrow Transplant. 2013;48(5):657-60.	
11-7	「小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析」 PI：吉田奈央
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
11-8	「再生不良性貧血の移植前処置としての至適サイモグロブリン投与量の検討；5mg/kg と 10mg/kg との比較を中心として」 PI：矢部普正
学会発表：	
論文業績：	
11-9	「小児再生不良性貧血造血幹細胞移植症例における移植後血流感染症の合併リスクの検討」 PI：小林良二
学会発表：JSHCT2014 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-3月9日），沖縄	

論文業績：投稿中	
11-11	「小児 AA における 2 回目移植の成績」 PI：工藤寿子
学会発表：JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日），沖縄	
論文業績：	
11-12	「小児造血不全症における FLU+LPAM を前処置に用いた造血幹細胞移植法の検討」 PI：吉田奈央
学会発表：JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日），沖縄	
論文業績：	

会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
2013 年 6 月 1 日	名古屋	発表項目の検討

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで）
（ 0 ）回

WG の今後の活動方針・抱負など

これまで発表した内容の論文化をすすめる。

12. 再生不良性貧血【成人】

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山崎 宏人	金沢大学附属病院	血液内科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
竹中 克斗	九州大学病院	血液腫瘍内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

12-1	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植における患者 HLA の影響」PI：山崎宏人
学会発表：山崎宏人 他 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日） 沖縄コンベンションセンター	
論文業績：	
12-2	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」 PI：森毅彦
学会発表・論文業績：未発表	
12-3	「再生不良性貧血に対する 2 回目同種造血幹細胞移植の検討」 PI：大西康
学会発表：大西康 他 第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日） 沖縄コンベンションセンター	
論文業績：	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
1月13日	国立がん研究センター —	進捗状況の確認。他のWGとの共同研究依頼の取扱いについての検討。
7月7日	名古屋第一赤十字病院	新たに再移植例に関する検討を研究テーマに加える。

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）
（188）回

WGの今後の活動方針・抱負など

再移植例の検討、患者 HLA の影響に関する検討は、第 36 回日本造血細胞移植学会総会で発表後、論文化を目指す。前処置の検討に関しては、現在、論文を執筆中である。これらの研究を進めていく過程で、TRUMP で取り扱った方がよい項目が抽出されつつある。WG 内で検討した上で、提案していきたい。

13. 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野

増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
鵜池 直邦	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
崔 日承	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
澤山 靖	長崎大学病院	血液内科(原研内科)

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

13-1	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI:石田高司
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)	
13-2	「成人 T 細胞性白血病/リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI:加藤光次
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 学会発表: Koji Kato, et al. Cord blood transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma(ATL): A retrospective analysis from the ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. 12th International Conference on Malignant Lymphoma (12-ICML), 平成 25 年 6 月 19 日, Lugano 論文業績: 投稿中	
13-3	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について」 PI:石田高司
学会発表: なし 論文業績: Ishida T, Hishizawa M, Kato K, Tanosaki R, Fukuda T, Takatsuka Y, Eto T, Miyazaki Y, Hidaka M, Uike N, Miyamoto T, Tsudo M, Sakamaki H, Morishima Y, Suzuki R, Utsunomiya A. Impact of graft-versus-host disease on allogeneic hematopoietic cell transplantation for adult T cell leukemia-lymphoma focusing on preconditioning regimens: nationwide retrospective study. Biol Blood Marrow Transplant. 2013;(12):1731-9.	
13-4	「成人 T 細胞性白血病/リンパ腫の同種移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討」 PI:加藤光次
学会発表: Koji Kato et al. Treatment of relapsed/refractory adult T-cell leukemia/lymphoma after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: the JSHCT-ATLWG study	

会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
2013/1/14 (第 6 回)	国立がん研究センター中央病院	<p>臍帯血移植の解析で、若年者、寛解状態、骨髄破壊移植などの予後良好の因子の抽出を行った。また、ルガノ悪性リンパ腫国際会議への発表を行うことを確認した。</p> <p>骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討の中で GVHD の意義について議論した。両前処置ともに G1/2 の急性 GVHD の発症は予後良好に働いた。G3/4 の急性 GVHD は有意に治療関連死と関連していた。早急に論文作成を行うこととした。</p> <p>各種リスクスコアの有用性についての提案があったが、2007 年以降のデータ欠損が多く、再検討することとなった。</p>
2013/3/7 (第 7 回)	金沢県立音楽堂	<p>ATL-WG の責任者の選挙にて宇都宮が再選された旨の報告が選挙管理委員長の鈴宮先生より報告がなされた。</p> <p>日本造血細胞移植学会でのワーキンググループ活動発表会の ATL-WG の報告内容について宇都宮より説明した。</p> <p>再移植症例の検討、各種リスクスコアの有用性の検討、中枢神経浸潤の解析、などが新しい研究テーマの提案候補としてあがった。</p>
2013/7/7 (第 8 回)	名古屋第一赤十字病院	<p>新規メンバー 4 名(井上、今田、吉田、吉満)の自己紹介と抱負について述べてもらった。</p> <p>臍帯血移植の後方視的研究でルガノ会議での発表について加藤先生より報告があった。生着前の感染症を中心とした移植関連死が多いことが問題であるとの指摘を受けた。すみやかに論文投稿をすすめることで合意した。新たな研究テーマとして、(1) 再移植症例の検討、(2) CMV 感染症、(3) HLA と移植成績、(4) 中枢神経浸潤、などが候補としてあがった。</p>

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで）

(989) 回

WG の今後の活動方針・抱負など

今年度の ATL-WG の活動は、打ち合わせ会は 3 回開催したものの新たな研究課題が 1 つの承認のみであった。成果としては、論文発表 1 編、論文投稿中 1 編、学会発表 2 回のみで十分ではなかった。ATL-WG の活性化が急務とされ、4 名の新規メンバーも加えて活性化を図りたい。新たな研究テーマの候補として、感染症、リスクスコアの有用性、HLA と移植成績、中枢神経浸潤などの研究テーマがあがっているため、今後できる限り早急に研究テーマとして申請する計画である。

14. 多発性骨髄腫

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
谷口 享子	兵庫医科大学病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
淵田 真一	社会保険京都病院	血液内科
牟田 毅	九州大学病院	血液腫瘍内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
青木 智広	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

14-1	「本邦における多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植の検討」 PI：池田宇次
	学会発表：なし 論文業績：なし
14-2	「造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析」 PI：高松博幸
	学会発表：高松博幸他 第18回欧州血液学会議 (EHA 2013) (平成25年6月13日～16日) 高松博幸他 第36回日本造血細胞移植学会総会 (JSHCT 2014) (平成26年3月7日～9日) 論文業績：なし
14-3	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討」 PI：河村浩二
	学会発表：河村浩二他 第36回日本造血細胞移植学会総会 (JSHCT 2014) (平成26年3月7日～9日) 論文業績：なし

14-4	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討：二次調査」 PI：河村浩二
学会発表：なし	
論文業績：なし	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013年1月	国立がん研究センター中央病院	14-2の提案および検討
2013年7月	名古屋第一赤十字病院	14-2のEHA2013報告、14-1, 14-3, 14-4の提案および検討,

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年11月末時点まで） （94）回

WGの今後の活動方針・抱負など

14-2について：EHA2013の内容を論文化予定。また追加解析にてJSHCT2014に発表予定。
14-1について：2014年日本血液学会学術集会に発表予定。
14-3について：2014JSHCTに発表予定。
14-4について：二次調査を行う予定。

15. 固形腫瘍

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
山本 将平	東京大学医科学研究所附属病院	小児細胞移植科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科
藤崎 弘之	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
小林 良二	札幌北楡病院	小児科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

15-1	「中枢神経腫瘍に対する造血細胞移植の成績」 PI：岩崎史記
学会発表・論文業績：	

15-2	「造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績」 PI：小川淳
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
15-3	「小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討」 PI：山本将平
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
15-4	「神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討」 PI：高橋義行
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 小児ハイリスク神経芽腫に対する同種臍帯血移植の解析；高橋義行、松本公一、藤崎弘之、岩崎史記、橋井佳子、中村和洋、杉田完爾、矢部普正、加藤剛二、高梨美乃子、熱田由子、井上雅美：平成 25 年 11 月 30 日、第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会、福岡 論文業績：	
15-6	「網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
15-7	「横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
15-8	「ウイルス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
15-9	「移植後再発小児神経芽腫に対する造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI：松本公一
学会発表： 論文業績：投稿予定。	

会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
なし		

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで）
（ 455 ）回

WG の今後の活動方針・抱負など

疾患別の検討については概ね終了しており、異なる切り口（晩期死亡率、その他：QOL-WG との共同研究など）での検討を計画したい。
本年度の活動は停滞傾向であったので、次年度に向けて活性化させたいと考えている。

16. 遺伝性疾患（免疫不全・代謝異常・造血不全など）

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 矢部 善正	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
矢部 みはる	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
後藤 裕明	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
森尾 友宏	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
加藤 俊一	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高倉 広充	東海大学医学部付属大磯病院	小児科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学
今井 耕輔	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	小児・周産期地域医療学講座

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

16-3	「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部善正
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照） Allogeneic stem cell transplantation for Diamond-Blackfan anemia in Japan. 38 th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation. April 7-10 2013, London, UK.	
論文業績：	
16-4	「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部みはる
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
16-9	「副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植」 PI：加藤剛二
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照） Koji Kato, Hiromasa Yabe, Shunichi Kato, Yoshiko Hashii, Keisei Kawa, Yoshiko Atsuta, Allogeneic Stem Cell Transplantation for Patients with Adrenoleukodystrophy. Nationwide Retrospective Study in Japan, 55th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition, 2013.12.7. New Orleans, USA	
論文業績：	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
1月13日	国立がんセンタ ー	担当テーマの進捗状況報告、二次調査研究等の情報交換と周辺領域での海外における研究の現状についての情報交換

7月6日	名古屋第一赤十字病院	担当テーマの進捗状況報告、二次調査研究等の情報交換、データ保管作業の打合せ
------	------------	---------------------------------------

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）
（132）回

WGの今後の活動方針・抱負など

先天性好中球減少症については解析するテーマが絞られたため、研究概要書の修正を加えて提出し、本年中の発表を目指しています。ウィスコット・アルドリッチ症候群とX連鎖血小板減少症についての解析は二次調査を伴うため、研究計画書を作成し、PIの施設IRBおよび一元化委員会での承認を済ませ、学会の臨床研究審査に進んでおり、本年中に二次調査を開始する予定です。混合キメラ・生着不全に対するDLIの研究は二次調査を必要としますが、PIが既に行っていた他の二次調査を伴う研究の論文が投稿段階に来たため、間もなく再申請する予定です。その他、慢性肉芽腫症を対象とした研究と、遺伝性疾患全体の動向と成績をテーマにした研究について、研究概要書が作成されており、間もなく申請の予定です。発表が済んだ3つのテーマ（ファンコニ貧血、ダイヤモンド・ブラックファン貧血、副腎白質ジストロフィー）については、論文化の方向で検討しています。

遺伝性稀少疾患を対象とした造血細胞移植の研究では、TRUMPで網羅されていない遺伝子診断などのデータが論文化には不可欠な事情があり、関連する学会との調整が必要であるため、造血細胞移植学会の学会員にWGに参加して頂くなどして、今後具体的に検討を進めます。

17. HLAと移植成績

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson Cancer Research Center	Program in Immunology
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科

小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
鎌塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植再生医療
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
高梨 美乃子	日本赤十字社	血液事業本部
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
有馬 靖佳	(公財)田附興風会 医学研究所 北野病院	血液内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

17-1	「GVHD が生じると GVL 効果があるのは事実か? : 血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植における HLA 座適合度別解析」 PI: 森島泰雄
解析中	
17-2	「アジア・太平洋地区における HLA を基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」 PI: 森島泰雄
海外施設データ収集中	
17-3	「非血縁者間骨髄移植における年代別のアリル不適合の影響」 PI: 神田善伸
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: Kanda Y, Kanda J, Atsuta Y, Maeda Y, Ichinohe T, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Iida H, Mori T, Iwato K, Eto T, Kawa K, Morita S, Morishima Y. Impact of a single human leucocyte antigen (HLA) allele mismatch on the outcome of unrelated bone marrow transplantation over two time periods. A retrospective analysis of 3003 patients from the HLA Working Group of the Japan Society for Blood and Marrow Transplantation. Br J Haematol. 2013;161(4):566-77.	
17-4	「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)における HLA 不一致度と感染症発症頻度」 PI: 加藤俊一
学会発表: 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日), 沖縄	

17-5	「非血縁者間骨髄移植 (UBMT) における HLA 抗原 (血清型) 不一致移植成績」 PI : 加藤俊一
学会発表 : 予定 (演題申込済み)	
17-6	「Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植における HLA 不一致の影響」 PI : 横山寿行
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
17-7	「HLA 適合血縁者間移植と HLA 適合非血縁者間移植における HLA ハプロタイプ、HLA 型に基づく移植免疫反応の解析」 PI : 森島聡子
学会発表 : 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日), 沖縄	
17-8	「KIR リガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」 PI : 田中淳司
学会発表 : 18th Congress of European Hematology Association, 13-16 June 2013, Stockholm, Sweden 論文業績 : Tanaka J, Morishima Y, Takahashi Y, Yabe T, Oba K, Takahashi S, Taniguchi S, Ogawa H, Onishi Y, Miyamura K, Kanamori H, Aotsuka N, Kato K, Kato S, Atsuta Y, Kanda Y. Effects of KIR ligand incompatibility on clinical outcomes of umbilical cord blood transplantation without ATG for acute leukemia in complete remission. Blood Cancer J. (in press).	
17-9	「造血幹細胞移植における HLA 型・HLA ハプロタイプ型と感染症発症頻度」 PI : 川瀬孝和
解析中	
17-10	「複数回造血細胞移植実施時における HLA 適合性の検討」 PI : 前田嘉信
解析中	
17-11	「T 細胞除去を用いない HLA 不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」 PI : 一戸辰夫
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照)	
17-12	「非血縁者間臍帯血移植における HLA 不適合度と移植成績」 PI : 熱田由子
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 : Atsuta Y, Kanda J, Takanashi M, Morishima Y, Taniguchi S, Takahashi S, Ogawa H, Ohashi K, Ohno Y, Onishi Y, Aotsuka N, Nagamura-Inoue T, Kato K, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Different effects of HLA disparity on transplant outcomes after single-unit cord blood transplantation between pediatric and adult patients with leukemia. Haematologica. 2013;98(5):814-22.	
17-13	「非血縁者間臍帯血移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI : 諫田淳也
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 : Kanda J, Atsuta Y, Wake A, Ichinohe T, Takanashi M, Morishima Y, Taniguchi S, Takahashi S, Ogawa H, Ohashi K, Ohno Y, Aotsuka N, Onishi Y, Kato K, Nagamura-Inoue T, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of the direction of HLA mismatch on transplantation outcomes in single unrelated cord blood transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. 2013;19(2):247-54.	
17-14	「非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響」 PI : 神田善伸
学会発表 : 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日), 沖縄 論文業績 : Kanda Y, Kanda J, Atsuta Y, Fuji S, Maeda Y, Ichinohe T, Takanashi M, Ohashi K, Fukuda T, Miyamura K, Mori T, Sao H, Kobayashi N, Iwato K, Sawada A, Mori S; HLA working group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Changes in the Clinical Impact of High-Risk Human	

Leukocyte Antigen Allele Mismatch Combinations on the Outcome of Unrelated Bone Marrow Transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. (in press).	
17-15	「第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH 方向 HLA 一抗原不適合血縁者と HLA8/8 アリル適合非血縁者の比較」 PI: 諫田淳也
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 投稿中	
17-16	「HLA 血清型 6/6 適合の血縁同胞とその他血縁者間移植の比較」 PI: 藤重夫
学会発表: 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日), 沖縄 論文業績: 投稿中	
17-17	「臨床決断分析を用いた AML 第 1 寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI: 神田善伸
解析中	
17-18	「臨床決断分析を用いた ALL 第 1 寛解期における UBMT と UCBT の比較」 PI: 坂本佳奈
解析中	
17-19	「骨髄・末梢血幹細胞移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI: 諫田淳也
学会発表: 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日), 沖縄	
17-20	「血縁者間同種移植における 1 抗原型不適合と 1 allele 型不適合の比較」 PI: 藤重夫
解析中	
17-21	「レシピエント HLA-C が、ドナー CTL と NK 細胞にとって、一致であるか不一致であるかの違いが、同種移植成績に及ぼしている影響」 PI: 有馬靖佳
解析中	

会議開催記録 (2013 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2013/01/13	国立がん研究センター中央病院	定例会議(特に TRUMP の HLA データについて)

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)
(922) 回

WG の今後の活動方針・抱負など

HLA-WG ではこれまでに 21 件の研究が提案された。H25 年は 1 回の定例会議の開催に加えてメーリングリスト上でも活発な議論が行われ、メーリングリストの発言件数は既に 922 件に達している。H25 年になってから学会発表、論文発表数が増加し、国際専門誌に既に 5 つの論文が accept されている(この他に Source-WG との共同研究が 1 本 accept 済)。データクリーニング用の R および Stata のスクリプトは毎年のデータセットにあわせて更新しながら造血細胞移植学会のホームページで公開しており、全 WG で利用することが出来る。これらのツールを活用して、今後はさらに多くの研究が発展していくことが期待できる。

18. ドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・末梢血・さい帯血)による移植成績

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
鍬塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
今井 陽俊	札幌北榆病院	内科
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
三田村 真	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課

長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科
木村 文彦	防衛医科大学学校病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院（がん・感染症センター 都立駒込病院）	輸血科（血液内科）
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
南谷 泰仁	東京大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
栗田 尚樹	筑波大学附属病院	血液内科
宮尾 康太郎	安城更生病院	血液・腫瘍内科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

18-1	「非血縁骨髄移植と非血縁臍帯血移植の比較研究（若年成人）」 PI：寺倉精太郎
学会発表・論文業績：	
18-2	「年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較」 PI：加藤俊一
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
18-4	「非血縁者間移植の至適ドナーの検討を目的とした国際共同研究」 PI：鎌塚八千代
学会発表： 1. 39th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation, 7-10 April 2013, London, UK. 2. 第75回日本血液学会学術集会（平成25年10月11日～13日）札幌 論文業績： Kuwatsuka Y, Atsuta Y, Horowitz MM, Inagaki J, Kanda J, Kato K, Koh K, Zhang MJ, Eapen M; Donor/Source Working Group and GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation and the Center for International Blood and Marrow Transplant Research. Graft-versus-host disease and survival after cord blood transplantation for acute leukemia: a comparison of the Japanese versus Caucasian population. <i>Biology of Blood and Marrow Transplantation</i> , 2014, doi: 10.1016/j.bbmt.2014.01.020. [Epub ahead of print]	
18-6	「急性白血病、慢性白血病急性転化および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における移植ソースの影響および化学療法との比較」 PI：田中正嗣
学会発表： 第75回日本血液学会学術集会（平成25年10月11日～13日）札幌 論文業績： 投稿中	
18-7	「小児領域におけるドナー別（血縁・非血縁）・移植細胞ソース別（骨髄・臍帯血）による移植成績」 PI：渡邊修大
学会発表・論文業績：	
18-8	「非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較」 PI：鎌田淳也
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績： 済（WG 研究業績一覧参照）	
18-9	「ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響—移植細胞ソースによる違い」 PI：木村文彦
学会発表： 済（WG 研究業績一覧参照）	

論文業績：	
18-10	「重症再生不良性貧血に対する血縁者間造血細胞移植成績の国際比較」 PI：木村文彦
学会発表：18th Congress of European Hematology Association, 13-16 June 2013, Stockholm, Sweden	
論文業績：	
18-11	「非血縁者間骨髄移植におけるドナー年齢と移植成績およびその結果に基づいた臍帯血移植との比較」PI：瀬尾幸子
学会発表・論文業績：	
18-12	「HLA 一致血縁ドナーからの成人造血悪性腫瘍に対する骨髄破壊的前処置による同種造血幹細胞移植 移植ソース 骨髄と末梢血幹細胞の比較」 PI：長藤宏司
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
18-13	「HLA 適合血縁者間骨髄移植・末梢血幹細胞移植後の急性 GVHD — 人種および移植源による比較」PI：諫田淳也
学会発表・論文業績：	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
1月14日	国立がん研究センター	研究進捗状況の報告
3月7日	石川県立音楽堂	研究進捗状況の報告 今後の活動方針

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） （277）回

WGの今後の活動方針・抱負など

本ワーキンググループはすべての疾患WGと縦糸で、すべての合併症WGと横糸で関係している。このためWG単独での研究を計画するのが困難であり、その研究申請は少ない。一方3つ以上の疾患をまとめて生存率をエンドポイントとした解析する場合は単独の研究として認められ、非血縁者間における臍帯血と骨髄の比較が高齢者、成人、小児で進められてきた（18-1, 18-6, 18-7）。また血縁における骨髄と末梢血幹細胞の比較も研究され本邦においては海外と異なり末梢血幹細胞ソースからの移植の成績は不良であるということを確認した（18-12）。

また18-2で開始された「年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較」は、本邦における適切なドナーソースの供給体制において必要な情報をもたらした。さらに「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（移植推進法）」にあるドナーリクルートの方向性を出して行くための大変な重要な解析であり、本研究を細分化したもののうちドナー年齢による移植成績の解析が進み（18-11）、性別、体重別の解析の申請が待たれる。これと同様な研究である「ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響—移植細胞ソースによる違い」（18-9）もすでに解析結果が公開されている。本ワーキンググループで行うべき解析の一つが人種によるドナーソースによる移植成績の解析である。日本と欧米における小児白血病領域における臍帯血移植の成績（18-2）、再生不良性貧血に対する骨髄移植の成績（18-10）、急性白血病における骨髄・末梢血幹細胞の移植成績の違い（18-13）などの解析は、本邦の特徴である遺伝学的同一性を背景とした本邦の良好な移植成績への新たな解釈を与える可能性がある。

「移植推進法」により国民に対してわかりやすい情報の発信が求められることになり、適切な移植ソース

の選択についてより詳細な解析が必要となる。すでに「非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較」(18-6)の研究が論文化されたが、今後も「臍帯血」と「DR血清1座不適合非血縁骨髄」の比較など、患者のみならず医療者も知りたい情報を、ソース別WGと、HLAWGの両ワーキンググループで解析を進めていくことが期待される。

以上のようにソース別 WG での研究テーマは多くあり、積極的に他の WG との調整を取り必要なデータを出して行きたい。

19 . GVHD 予防法と GVHD

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	血液内科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科

宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
松岡 賢市	岡山大学病院	血液・腫瘍内科

2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

19-1	「シクロスポリンおよびタクロリムスによる GVHD 予防法の比較検討」 PI：酒井リカ
学会発表： 済（WG研究業績一覧参照） 論文業績： 投稿中	
19-2	「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI：加藤剛二
学会発表： 済（WG研究業績一覧参照）. 論文業績：	
19-3	「前処置別の急性 GVHD のリスク因子解析」 PI：仲宗根秀樹
学会発表： BMT Tandem meetings 2014 論文業績：	
19-5	「既存データを用いた年齢別の急性 GVHD 発症後の予後の検討」 PI：中根孝彦
学会発表： 済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：	
19-6	「急性 GVHD に対するステロイド一次治療の成績」 PI：村田誠
学会発表： 済（WG研究業績一覧参照） 論文業績： Murata M, Nakasone H, Kanda J, Nakane T, Furukawa T, Fukuda T, Mori T, Taniguchi S, Eto T, Ohashi K, Hino M, Inoue M, Ogawa H, Atsuta Y, Nagamura-Inoue T, Yabe H, Morishima Y, Sakamaki H, Suzuki R. Clinical factors predicting the response of acute graft-versus-host disease to corticosteroid therapy: an analysis from the GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	

Biol Blood Marrow Transplant. 2013; 19(8): 1183-9.	
19-7	「GVHD と TMA の関連性の検討」 PI : 吾郷浩厚
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 :	
19-8	「既存データを用いた臓器別慢性 GVHD の発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI : 諫田淳也
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 : Kanda J, Nakasone H, Atsuta Y, Toubai T, Yokoyama H, Fukuda T, Taniguchi S, Ohashi K, Ogawa H, Eto T, Miyamura K, Morishima Y, Nagamura-Inoue T, Sakamaki H, Murata M. Risk factors and organ involvement of chronic GVHD in Japan. Bone Marrow Transplant. 2013 (in press)	
19-9	「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI : 仲宗根秀樹
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 : Nakasone H, Kanda J, Yano S, Atsuta Y, Ago H, Fukuda T, Kakihana K, Adachi T, Yujiri T, Taniguchi S, Taguchi J, Morishima Y, Nagamura T, Sakamaki H, Mori T, Murata M; GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. A case-control study of bronchiolitis obliterans syndrome following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Transpl Int. 2013; 26(6): 631-9.	
19-10	「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシビエントの性別の影響」 PI : 大島久美
学会発表 : 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績 :	
19-11	「再発リスク症例における GVHD 発症と GVL 効果の相関に関する研究」 PI : 東梅友美
学会発表・論文業績 :	
19-17	「ガンマグロブリン予防投与の有無が GVHD 等の造血幹細胞移植成績に及ぼす影響:後方視的解析」 PI : 高松博幸
学会発表・論文業績 :	
19-18	「同種造血細胞移植後の急性 GVHD 発症時期が移植予後に与える影響についての検討」 PI : 内田直之
学会発表・論文業績 :	
19-19	「小児急性骨髄性白血病同種移植症例におけるシクロスポリン持続点滴法と分割静注法の有効性と安全性の比較検討」 PI : 梅田雄嗣
学会発表 : JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日) 沖縄 論文業績 :	

会議開催記録 (2013 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2013/1/14	国立がん研究センター中央病院	各研究課題の進捗状況の報告、二次調査を要する研究の進め方についての議論など
2013/7/7	名古屋第一赤十字病院	各研究課題の進捗状況の報告、TRUMP 調査項目変更の提案など

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)
(661) 回

WG の今後の活動方針・抱負など

同種移植における GVHD の制御は移植の成否の鍵であり、当 WG ではその責務を果たすため、発足当初よりメンバー間で活発かつオープンな議論がなされています。各研究課題は精力的に進められており、既に、急性 GVHD に対するステロイド一次治療の有効率および有効率に影響を与える因子を明らかにした研究（村田ら）、慢性 GVHD の発症率および発症率に影響を与える因子を明らかにした研究（諫田ら）、慢性 GVHD の中でも特に生命予後に与える影響が大きい閉塞性細気管支炎の発症危険因子を明らかにした研究（仲宗根ら）は論文化に至っております。今年度新たに加わったメンバーからも早速新しい研究が提案されており、また得られた結果に基づいて TRUMP 調査項目変更の提案も行っています。今後、より一層の成果を発信すべくメンバー一同鋭意努力するところであります。引き続き、新メンバーの加入を歓迎いたします。

20 . GVHD 以外の移植関連合併症

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
小池 隆志	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
今橋 真弓	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
森 有紀	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
林 良樹	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	セルプロセッシング・輸血部
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科

辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
加藤 元博	東京大学医学部附属病院	無菌治療部（小児科）
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター 血液腫瘍科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科
竹中 克斗	九州大学病院	血液腫瘍内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科
高田 覚	群馬県済生会前橋病院	血液内科
太田 秀一	札幌北榆病院	内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
緒方 正男	大分大学医学部附属病院	血液内科
藤井 伸治	岡山大学病院	輸血部
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
井上 明威	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
重松 明男	北海道大学病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
高野 久仁子	大分大学医学部附属病院	血液内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
池邊 太一	大分県立病院	血液内科
植木 俊充	長野赤十字病院	血液内科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
冲中 敬二	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
栗田 尚樹	筑波大学附属病院	血液内科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

20-1	「造血幹細胞移植後サイトメガロウイルス感染症の発症頻度、危険因子、予防法に関する研究」 PI：西田徹也
学会発表：西田哲也ほか、第35回日本造血細胞移植学会総会（平成25年3月7日-9日）、石川県立音楽堂 ほか	
20-2	「非血縁者間移植患者におけるウイルス感染症の検討」 PI：森有紀
学会発表：第75回日本血液学会総会（2013年10月11日-13日）、札幌（JSH2013） 論文業績：	
20-3	「同種造血幹細胞移植後の出血性膀胱炎（HC）に対する標準的予防法・早期治療法の確立に向けた抗ウイルス薬のHC発症抑制効果に関する検討」 PI：中沢洋三
学会発表：：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-4	「造血幹細胞移植後合併症と長期予後に与えるHCV既感染の影響」 PI：仲宗根秀樹
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：Nakasone H, Kurosawa S, Yakushijin K, Taniguchi S, Murata M, Ikegame K, Kobayashi T, Eto T, Miyamura K, Sakamaki H, Morishima Y, Nagamura T, Suzuki R, Fukuda T. Impact of hepatitis C virus infection on clinical outcome in recipients after allogeneic hematopoietic cell transplantation. Am J Hematol. 2013;88(6):477-84.	
20-5	「同種造血幹細胞後の深在性真菌症に関する検討」 PI：大島久美
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-6	「一元管理事業データに基づく同種造血幹細胞移植後の器質化肺炎（COP/BOOP）の解析」 PI：仲宗根秀樹
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：Nakasone H, Onizuka M, Suzuki N, Fujii N, Taniguchi S, Kakihana K, Ogawa H, Miyamura K, Eto T, Sakamaki H, Yabe H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Fukuda T. Pre-transplant risk factors for cryptogenic organizing pneumonia/bronchiolitis obliterans organizing pneumonia after hematopoietic cell transplantation. Bone Marrow Transplant. 2013;48(10):1317-23.	
20-7	「Hematopoietic Cell Transplantation Specific Comorbidity Index (HCT-CI)を用いた同種造血幹細胞移植後の予後予測に関する研究」 PI：横山洋紀
学会発表：済（WG研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-8	「同種造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群の発症割合、リスク因子ならびに治療法に関する研究」 PI：薬師神公和
学会発表：55 th ASH annual meeting（2013年12月7日-10日）、ニューオリンズ（ASH2013） 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-9日）、沖縄（JSHCT2014） 論文業績：	
20-9	「同種造血幹細胞移植後の微小血管症の発症割合、リスク因子、予後に関する研究」 PI：名和由一郎
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	

論文業績：	
20-10	「小児および成人における移植後非感染性肺合併症に関する検討」 PI：鬼塚真仁
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
20-11	「造血幹細胞移植後ウイルス感染の造血器悪性腫瘍再発に及ぼす影響に関する研究」 PI：竹中克斗
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
20-12	「小児に対する同種造血幹細胞移植後の生着不全に対する再移植の予後」 PI：加藤元博
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績： Kato M, Matsumoto K, Suzuki R, Yabe H, Inoue M, Kigasawa H, Inagaki J, Koh K, Hashii Y, Tauchi H, Suminoe A, Kikuta A, Sakamaki H, Kawa K, Kato K, Fukuda T. Salvage allogeneic hematopoietic SCT for primary graft failure in children. Bone Marrow Transplant. 2013;48(9):1173-8.	
20-13	「同種造血幹細胞移植前の生活習慣病（糖尿病と肥満）が予後に与える影響について」 PI：高野久仁子
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
20-14	「骨髄非破壊的移植における生着前感染症」 PI：重松明男
学会発表・論文業績：	
20-15	「同種造血幹細胞移植における血流感染症の発症、リスク因子、予後に関する解析」 PI：井上明威
学会発表：第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日），沖縄（JSHCT2014）	
論文業績：	
20-16	「血小板生着不全のリスク因子と予後に及ぼす影響」 PI：木村文彦
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：	
20-17	「同種造血幹細胞移植患者における侵襲性肺炎球菌感染症の特徴」 PI：沖中敬二
学会発表：第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日），沖縄（JSHCT2014）	
論文業績：	
20-18	「小児および成人における移植後非感染性肺合併症に関する検討：二次調査」 PI：鬼塚真仁
学会発表・論文業績：	
20-19	「同種造血幹細胞移植前の BMI と予後の関連について」 PI：藤重夫
学会発表：第 75 回日本血液学会総会（2013 年 10 月 11 日-13 日），札幌（JSH2013）	
論文業績：	
20-20	「移植後再発に対する 2 回目同種移植における HCT-CI の重要性についての検討」 PI：藤重夫
学会発表・論文業績：	
20-21	「本邦における同種造血幹細胞移植前 HCT-CI scoring system の再構築」 PI：藤重夫
学会発表・論文業績：	

会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
7月6-7日	名古屋第一赤十字病院	進捗状況の確認、新規研究課題についての議論
1月13-14日	国立がん研究センター	進捗状況の確認、新規研究課題についての議論

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） （355）回

WGの今後の活動方針・抱負など

造血幹細胞移植後のGVHD以外の合併症は、感染症や臓器障害など広範囲におよび、移植関連死亡の主要な原因となっている。本WGでは、臨床的に意義のあるエビデンスを発信するために活動している。国内・海外の学会で多数の発表を行っており、3報の英文論文を報告している。TRUMP内のGVHD以外の合併症に関する情報は限られており、これまでに二次調査を含む研究を2つ行った。今後も新規の研究案を募集し、活動性を高めていきたい。

21．晩期合併症とQOL

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
藤澤 信	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
森本 克	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
森 有紀	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
酒井 リカ	（独）神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
桑原 英幸	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科

	—	
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
塩原 正明	松本歯科大学病院	小児科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科
早川 晶	神戸大学医学部附属病院	小児科
瀬戸 愛花	岡崎市民病院	血液内科
初見 菜穂子	群馬県済生会前橋病院	血液内科
佐藤 篤	宮城県立こども病院	血液腫瘍科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 JSHCT2014を含む)

21-4	「同種造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI: 熱田由子
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: 執筆中	
21-7	「同種造血幹細胞移植後の晩期再発に関する検討」 PI: 山下卓也
学会発表: Takuya Yamashita et al. 55th ASH Annual Meeting, Dec 7-10, 2013, New Orleans, USA 山下卓也他 第36回日本造血細胞移植学会総会(平成26年3月7日-9日)沖縄コンベンションセンター	
論文業績: 執筆中	
21-8	「自家造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI: 飯田美奈子
学会発表:	
論文業績: 執筆中	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013/01/13 13:00-14:00	国立がん研究センター中央病院	1. 成人・小児 QOL 横断的観察研究の進捗状況報告 2. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究の進捗状況報告 3. WG 責任者交代について
2013/03/20 12:00-16:00	安保ホール (名古屋市)	1. QOL 横断的観察研究の進捗状況報告および解析計画について 2. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究に関する報告 3. 現行研究課題の見直しと新規研究課題の提案について
2013/07/07 13:00-14:00	名古屋第一赤十字病院	1. QOL 横断的観察研究の進捗状況と研究実施上の問題点について 2. QOL 横断的観察研究の解析計画の提示 3. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究に関する検討 4. 自家移植における晩期死亡と死因解析研究の提案 5. 同種移植後の晩期再発研究の提案

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで)

(440) 回

WGの今後の活動方針・抱負など

晩期合併症とQOLワーキンググループ(WG)では、移植後長期生存患者におけるQOLの横断的調査を実施する下記の2つのプロトコルを立案し、昨年度から研究を開始した。

本邦の同種造血幹細胞移植後長期生存成人患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究

本邦の自家および同種造血幹細胞移植後長期生存小児患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究
両研究は日本造血細胞移植学会臨床研究委員会より学会主導研究として位置づけられ、多数の施設の協力を得て継続中である。2013年12月31日現在の調査票受領数は、において患者902、医師864(目標症例数300)、において患者246、医師280(目標症例数400)である。現在、当WGでは当該研究にて集積されるデータの解析計画を準備中であり、当該研究終了後には速やかにその結果を公表し、移植後患者のQOL向上に資することを目指している。

当WGでは、現在、TRUMPデータを用いた後方視的研究として3課題が遂行されており、本年度4演題の学会発表を実施した。現有のTRUMPデータにおける晩期合併症やQOLに関する情報は極めて限られているが、当WGは、今後も新規課題を含めた後方視的研究を推進し、移植後晩期合併症の適切な管理と長期生存者のQOLの向上の礎となる情報の発信に努めたい。

2.2. ドナーの安全性(骨髄・末梢血)

WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小寺 良尚	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
三田村 真	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	
政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究所	病態解析学分野
塩原 正明	松本歯科大学病院	小児科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
小原 明	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
葉師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科
飯田 浩充	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	細胞療法科

小林 直樹	札幌北榆病院	内科
矢部 普正	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科

2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

22-1	「Safety and risk of allogeneic peripheral blood stem cell donation: results of nation-wide consecutively prereistered 3,264 family donor survey in comparison with bone marrow donation in Japan」 PI:小寺良尚
学会発表: 済 (「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照) 論文業績: Kodera Y, Yamamoto K, Harada M, Morishima Y, Dohy H, Asano S, Ikeda Y, Nakahata T, Imamura M, Kawa K, Kato S, Tanimoto M, Kanda Y, Tanosaki R, Shiobara S, Kim SW, Nagafuji K, Hino M, Miyamura K, Suzuki R, Hamajima N, Fukushima M, Tamakoshi A, Halter J, Schmitz N, Niederwieser D, Gratwohl A. PBSC collection from family donors in Japan: a prospective survey. Bone Marrow Transplant. 2014;49(2):195-200.	
22-2	「同種造血細胞ドネーションの更なる促進のために」 PI:小寺良尚
学会発表: 済 (「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照) 論文業績:	
22-3	「血縁造血幹細胞ドナーの声」 PI:小寺良尚
学会発表・論文業績: 済 (「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照)	
22-5	「小児骨髄移植ドナーの安全性」 PI:矢部みはる
学会発表: 矢部みはる他 第35回日本造血細胞移植学会総会(平成25年3月7日-3月9日), 石川県立音楽堂他 論文業績: なし	
22-6	「小児末梢血幹細胞移植ドナーの安全性に関する検討」 PI:塩原正明
学会発表: なし (平成26年1月25日 ドナー委員会承認) 論文業績: なし	

会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2013年3月8日	石川県立音楽堂	研究進捗状況の報告, 新規研究課題の検討
2013年7月6日	名古屋第一赤十字病院	研究進捗状況の報告, 新規研究課題の検討

メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで)

(100)回

WGの今後の活動方針・抱負など

1. 血縁骨髄・末梢血ドナーフォローアップ事業 10 年間（2005 年 4 月～2015 年 3 月）の総括的研究。
2. 血縁・非血縁共通ドナー手帳の英訳と学会 Web への掲載（APBMT、WBMT 向けとして）に関する研究。
3. 血縁・非血縁ドナーのための適格性に関する国際基準の策定に関する研究。
4. 血縁小児ドナーのための適格性の策定に関する研究。
5. 血縁ドナーアンケートの総括に関する研究。

23. 海外ドナーからの移植

WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
三田村 真	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

2012 年 12 月末時点で承認された研究、及び業績一覧

23-1	「海外非血縁ドナーからの造血幹細胞移植の成績に関する検討 ～国内非血縁ドナーからの骨髄移植・さい帯血移植との matched-pair 解析」 PI：一戸辰夫
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）。	
論文業績：	

会議開催記録（2012 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
		2013 年には開催いたしませんでした。

メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで） （199）回

WG の今後の活動方針・抱負など

WG 発足以来、海外ドナーからの移植成績に影響を及ぼす因子の検討や国内非血縁ドナーとの成績の比較などをテーマとして、APBMT に 2 年連続で研究成果を報告して参りました。今後は残されている課題として、海外ドナーから移植を実施した患者さんの HLA ハプロタイプの特徴を検討する研究を新たに開始する予定としています。また、海外ドナーから実施される新規の移植がきわめて少なくなっている現状から、他の WG との共同研究の可能性を模索していきたいと考えています。

WG 研究業績一覧

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
1-1	小児 AML における第 2 寛解期再移植例の成績と再移植の意義	多賀崇	JSH2012		
1-2	非寛解期小児 AML における移植成績	岡本康裕	JSHCT2012		
1-3	ダウン症候群に合併した急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績	村松秀城	JSPHO2011	Pediatr Blood Cancer .(in press)	WGP 1-1
1-4	小児 AML に対する自家移植の解析	坂口大俊	JSHCT2012		
1-5	小児・思春期 AML 第一，第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響	石田宏之	JSHCT2012		
1-7	t(8;21)および inv(16)異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績	村松秀城	JSHCT2013		
2-1	AML 患者に対する RIST の有用性に関する研究-骨髄移植と末梢血幹細胞移植の比較-	金森平和	ASH 2012		
2-3	成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013		
2-4	成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSH2012 ,他		
2-5	初回寛解導入不応・再発非寛解期の急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後解析	横山洋紀	JSH2012		
2-6	各染色体分類における急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後の比較	横山洋紀	JSHCT2012		
2-7	急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の再発リスク因子解析	矢野真吾	ASH2011 ,他		
2-8	AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析	高見昭良	JSH2012		
2-12	AML-M6/M7 に対する造血幹細胞移植	石山謙	JSHCT2012, 他		
2-23	成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013, 他		
2-24	成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄非破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013, 他		
3-2	小児急性リンパ性白血病に対する骨髄破壊的移植と骨髄非破壊的移植の比較検討	加藤剛二	JSHCT2012		
3-4	同種移植後再発小児 ALL における同種再移植後の予後に関する検討	加藤元博	JSHCT2012	BMT 2012;47:1307	WGP 3-1
3-5	非寛解期小児 ALL における移植成績	岡本康裕	JSHCT2012		
3-6	小児・思春期 ALL 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響	石田宏之	JSHCT2012		

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
3-12	小児急性白血病の移植前処置における経口ブスルファンと静注ブスルファンの比較	加藤元博	JSH2013,他	BBMT 2013;19:169 0	WGP 3-2
4-1	高齢者 ALL 患者に対する RIST の有用性と予後因子に関する研究	金森平和	ASH2011	BMT 2013;48:151 3	WGP 4-1
4-2	Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.	西脇聡史	ASCO2012,他	Ann Oncol 2013;24:159 4	WGP 4-2
4-3	急性リンパ球性白血病に対する軽減前処置造血細胞移植に関する後方視的解析および骨髄破壊的前処置移植との比較	田中淳司	ASH2012	BMT 2013;48:138 9	WGP 4-3
4-4	成人フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病における第一寛解期自家移植と同種移植の治療成績の比較	加藤春美	ASH2012		
5-2	慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績 (CML 成人共同研究)	村松秀城	JSHCT2012		
6-1	慢性骨髄性白血病 (CML) の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較	大橋一輝	JSH2012,他		
7-1	治療関連による小児および若年者の骨髄異形成症候群 (MDS) /急性骨髄性白血病 (AML) 症例に対する造血幹細胞移植治療の検討	小嶋靖子	JSHCT2012		
7-4	小児骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植において G-CSF の予後に与える影響	長谷川大 一郎	JSH2011		
7-5	小児一次性骨髄異形成症候群に対する至適移植法の開発に関する研究	長谷川大 一郎	EBMT2013		
8-1	同種造血幹細胞移植が行われた 50 歳以上の MDS 患者における移植成績の検討	青木一成	ASH2012		
8-3	成人 MDS に対する臍帯血移植	石山謙	EHA2013,他		
8-4	慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討	糸永英弘	ASH2013		
9-2	小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移植症例の検討	小林良二	International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non -Hodgkin's Lymphoma 2012	BJH 2012;159:88	WGP 9-1
9-4	小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血細胞移植成績	深野玲司	JSH2013		

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
9-6	小児成熟 B 細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績	藤田直人	International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non-Hodgkin's Lymphoma 2012		
10-1	濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究	伊豆津宏二	ASH2011,他		
10-2	悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討 - 一元化データをを用いた解析 -	吾郷浩厚	JSHCT2012		
10-3	節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型 (ENKL) の移植成績	鈴木律朗	ICML2011,他		
10-4	リンパ腫の組織型別・病期別移植成績	伊豆津宏二	ICML2011,他		
10-5	ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討	賀古真一	JSHCT2012		
10-6	移植前 B 型肝炎、C 型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響	加藤春美	JSH2013,他		
10-7	高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究	千原大	ICML2013	BBMT (in press)	WGP 10-1
10-8	縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究	近藤英生	ICML2013		
10-9	中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究	近藤英生	EHA2013		
11-1	フルダラビン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響	矢部普正	JSHCT2012		
11-2	小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法の比較	吉田奈央	JSH2011,他		
11-3	小児再生不良性貧血におけるドナー選択—HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ドナーの比較	小島勢二	JSH2011,他		
11-4	小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績	菊地陽	JSHCT2012	BMT 2013;48:657	WGP 11-1
11-7	小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析	吉田奈央	ASH2012,他		
13-1	ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討	石田高司	JSH2011	Blood 2012;120:1734	WGP 13-1
13-2	成人 T 細胞性白血病 / リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討	加藤光次	JSH2012,他		
13-3	ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について	石田高司		BBMT 2013;19:1731	WGP 13-2
14-2	造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析	高松博幸	EHA2013,他		

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
15-2	造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績	小川淳	JSPHO2011		
15-3	小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討	山本将平	JSPHO2011		
15-4	神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討	高橋義行	EBMT2012, 他		
15-6	網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討	小林良二	JSPHO2011		
15-7	横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討	小林良二	JSPHO2011		
15-8	ウィルムス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討	小林良二	JSPHO2011		
16-3	Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績	矢部普正	JSHCT2012, 他		
16-4	Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績	矢部みはる	JSHCT2012, 他		
16-9	副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植	加藤剛二	JSHCT2013, 他		
17-3	非血縁者間骨髄移植における年代別のアレル不適合の影響	神田善伸	JSH2012	BJH 2013;161:566	WGP 17-1
17-6	Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植における HLA 不一致の影響	横山寿行	JSHCT2013		
17-8	KIR リガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討	田中淳司	EHA2013	Blood Cancer J (in press)	WGP 17-2
17-11	T 細胞除去を用いない HLA 不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討	一戸辰夫	ASH2012, 他		
17-12	非血縁者間臍帯血移植における HLA 不適合度と移植成績	熱田由子	EBMT2012, 他	Haematologica 2013;98:814	WGP 17-3
17-13	非血縁者間臍帯血移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響	諫田淳也	JSH2012	BBMT 2013;19:247	WGP 17-4
17-14	非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響	神田善伸		BBMT (in press)	WGP 17-5
17-15	第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH 方向 HLA —抗原不適合血縁者と HLA8/8 アレル適合非血縁者の比較	諫田淳也	JSHCT2013, 他		
18-2	年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較	加藤俊一	JSPHO2012		
18-4	非血縁者間移植の至適ドナーの検討を目的とした国際共同研究	鍬塚八千代	EBMT2013, 他	BBMT (in press)	WGP 18-2

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
18-6	急性白血病、慢性白血病急性転化および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における移植ソースの影響および化学療法との比較	田中正嗣	JSH2013		
18-8	非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較	諫田淳也	JSH2012	Leukemia 2013;27:286	WGP 18-1
18-9	ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響—移植細胞ソースによる違い	木村文彦	JSH2012		
18-10	重症再生不良性貧血に対する血縁者間造血幹細胞移植成績の国際比較	木村文彦	EHA2013		
18-12	HLA一致血縁ドナーからの成人造血悪性腫瘍に対する骨髄破壊的前処置による同種造血幹細胞移植 移植ソース骨髄と末梢血幹細胞の比較	長藤宏司	JSH2012		
19-1	シクロスポリンおよびタクロリムスによるGVHD予防法の比較検討	酒井リカ	EBMT2012, 他		
19-2	血液悪性腫瘍に対する同種造血幹細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討	加藤剛二	JSH2012,他		
19-5	既存データを用いた年齢別の急性GVHD発症後の予後の検討	中根孝彦	JSH2012,他		
19-6	急性GVHDに対するステロイド一次治療の成績	村田誠	JSHCT2012, 他	BBMT 2013;19:118 3	WGP 19-1
19-7	GVHDとTMAの関連性の検討	吾郷浩厚	JSH2012		
19-8	既存データを用いた臓器別慢性GVHDの発症様式、発症頻度、予後の解析	諫田淳也	JSH2012	BMT (in press)	WGP 19-3
19-9	一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析	仲宗根秀樹	JSHCT2012	Transpl Int 2013;26:631	WGP 19-2
19-10	GVHDとGVL効果に対するドナーとレシipientの性別の影響	大島久美	Tandem2012, 他		
20-1	造血幹細胞移植後サイトメガロウイルス感染症の発症頻度、危険因子、予防法に関する研究	西田徹也	JSHCT2013		
20-2	非血縁者間移植患者におけるウイルス感染症の検討	森有紀	JSH2013		
20-3	同種造血幹細胞移植後の出血性膀胱炎(HC)に対する標準的予防法・早期治療法の確立に向けた抗ウイルス薬のHC発症抑制効果に関する検討	中沢洋三	JSHCT2013		
20-4	造血幹細胞移植後合併症と長期予後に与えるHCV既感染の影響	仲宗根秀樹	JSHCT2012, 他	Am J Hematol 2013;88:477	WGP 20-1
20-5	同種造血幹細胞後の深在性真菌症に関する検討	大島久美	JSH2012,他		
20-6	一元化管理事業データに基づく同種造血幹細胞移植後の器質化肺炎(COP/BOOP)の解析	仲宗根秀樹	JSH2012	BMT 2013;48:131 7	WGP 20-2